



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2011～2012 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「人として生きる」

◆会長 平林 英一 ◆幹事 新宮 一郎 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 周 信夫

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 920 回	52 名	52 名	43 名	—	82.69%
前々回 918 回	52 名	52 名	45 名	1 名	88.46%

<点 鐘> 会長 平林 英一
<ロータリーソング> 奉仕の理想

<会長の時間> 会長 平林 英一

日本は 2015 年に財政破たん、海外で懸念する声があります。

国債残高が 2015 年には国民貯蓄を上回る予想をしているからだということです。

現在我が国の財政状況は、国と地方で借入残高が 1000 兆円で、歳出に占める割合が平成 21 年度から 4 年続けて国債のほうが taxation を上回る状態です。ところが国債所有者の 90%以上が日本国内であるということで、日本政府は大丈夫だと考えていますが、これを支える金融資産が 1400 兆円あるとはいえ、いつまでも国内所有 90%以上が続くとは考えられないということです。

確かに不安に思います。

少子高齢化の進む日本、経済状況が著しくよくなり税金が増えることはあまり期待できないと思います。お札をいっぱい印刷してばらまいたらと思う人がいても不思議でない気がします。

国にお金があっても社会保障のためのお金はドンドン必要となります。

収入がなければ支出を減らすしかないと思うのですが、政治の世界は口で言うは易し、行うは難しという感じです。でも、ここまで来たら本気で社会保障費の年金、医療費の圧縮を考えなければ、広く痛みを分け合うことをしなければ、ダメになる。子供たちの為にも、ある程度高齢者に負担をせよ。我慢をお願いするという事です。

また、国会議員そして公務員の方にも、財政再建に協力をお願いすることだと思います。

消費税の増税もやむなしとは思いますが、政治には庶民が納得して将来の為に感謝される政策をお願いしたいと思います。

今後の税制改正予定をみると、所得税、相続税、消費税すべて増税傾向ですが、法人税だけは 24 年度から下が

ります。法人所得の留保分が富裕層の為だけでなく庶民の生活に豊かさを感じられるような支出に変わればと願います。すなわち国内雇用の拡大そして庶民の可処分所得の増加です。結果庶民の消費の拡大につながるのです。

また、こんな見方もできます。

世界の国々の経済のグローバル化で、国際競争の中、利益を上げる企業と、富裕層の為に、日本の経済活性化と成長を続けられる政策の税制改正が、必要であるということです。(何かおかしいと、思う人もいでしょうけれど。) 格差はますます拡大するかもしれませんが、海外にお金が逃げないようにするためにです。少子高齢化の日本は国内向けだけの財政政策では何ともならないということです。

国民にとって「幸福とは何か」価値観がわからなくなるのも事実です。

税制の役割が、本当に大きいことがわかります。

<幹事報告> 幹事 新宮 一郎

◎R I 本部より

・ザ・ロータリーアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・ガバナー月信訂正とお詫び

(誤り) 2012-13 年度ガバナーノミネー

(正) 2014-15 年度ガバナーノミネー

・5 月、6 月締め切りの 2011-12 年度 R I 賞・表彰お知らせ

・5 月 1 日からロータリーレート 1 \$ = 8 2 円

・「学友だより」配布

・国際親善奨学生第 3 回オリエンテーション・学友会総会開催のご案内

日 時：6 月 2 日 (土) 12:00～15:00

会 場：名鉄グランドホテル 18 階「かいめうほう」

出席者：カウンセラー 清水 幸平

○高山ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

5 月 3 日 (木) 法定休日により休会

5 月 17 日 (木) 18:30～ 新緑例会 八ッ三館

○高山西ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ
5月4日(金) 法定休日により休会
5月18日(金) → 20日(日) 6:00～
新緑例会 雨晴マリーナ

<ぎふ清流国体高山市実行委員会より>

- ・第4回常任委員会及び総会開催のご案内
日時: 5月1日(火) 13:30～15:00
会場: 高山市役所市民ホール
- ・ぎふ清流国体開催に係る協賛依頼について

<尾張東部放送より>

- ・ロータリークラブの広報活動の提案について

<HC高山を支援する会より>

- ・総会および報告会および懇親会のご案内
日時: 5月13日(日) 18:00～
会場: フローラ

<会報>

- ・可茂RC ・美濃加茂RC ・高山RC

<訃報>

下呂ロータリークラブ パストガバナー中川良三様が4月11日ご逝去されました。4月13日に近親者のみで密葬が行われました。

告別式は、社葬をもって行われます。

日時 5月12日(土) 11:00～

会場 水明館 「朝陽の間」

喪主 中川 正之

* 香典の儀は固くご辞退されます。

<地区協議会報告>

戦略計画部門

足立 常孝

昨日地区協に参加いただいた18名の皆様、悪天候で寒い1日ご苦労様でした。全体セレモニーから分科会研修そして、分科会報告・講評と正午から5時間ぎっしりの協議会でした。



分科会では、会長・幹事・会計(戦略計画部門)に、田中次期幹事と一緒に参加いたしました。テーマは、2点で、地区資金収支予算書(案)の承認と桑月直前ガバナーのRIの現状方針でした。時間は、それぞれ40分の予定でしたが、予算案の審議が長引きまして、桑月直前ガバナーのRIの方針説明は15分でした。

予算案の審議では、数多い質問が出ました。田中次期RI会長の方針で、会員1年間300円の「世界平和フォーラム補助金」を地区に要請があった件の質疑で「財団に多額の資金がプールしてある。地区もクラブも資金的に運営が大変であるから、RIに負担要請をのめないと言えないのか?」とか、「地区の委員会交通費を財政が緊迫しているから、従来の半額の予算にしたい。」とか様々な質問が出ました。予定時間を超過して、大変熱い分科会会議でした。桑月直前ガバナーのRIの方針説明では、以前は、職業奉仕がロータリー活動の中心で、ロータリーを動かしている。

RIの現状は、財団しだいである。時間がなく、説明不足で終了されました。

地区の会員数5,000人が3,000人になり、約2,000万円の地区の減収は、従来通りの運営ができない。だから改革であり、会員増強である。改革も単年度制では、限界があるので、DLP・CLPの長期事業計画で考えていきたい。地区もクラブの真剣に取り組んでほしい。

次年度のクラブ運営方針ですが、『ロータリー活動の基本が、クラブ活動にある。』基本に忠実に、昨年経済状況下では、「質素な運営・豊かな奉仕」をテーマにして運営させていただきます。

①会員個々の金銭的な負担を軽くすることに努めます。

イ、各例会時に担当委員会は、極力安易な講師例会を避けてください。クラブ会員は、人財の宝庫ですから委員会で手作りの楽しい企画を、お願い致します。

ロ、例会時も食費支出も節約し、工夫いたします。懇親例会の特別会費も少額にします。

②米山奨学・ロータリー財団の寄付金もクラブ運営費の節約で捻出できるよう努めます。(寄付の強制を避けたいものです)

③複数年度に跨る事業計画にも対応できる未来委員会も立ち上げます。

④1991年5月20日に創立されて、来年5月20日は、月曜日です。新緑の設立記念日に、思い出に残る例会を行いたい。

⑤今年度は、平塚湘南クラブと交流する予定の年です。「来春双方の中間地点で、移動例会をしては?」と打診がありました。理事会で検討して、その節は皆様にご協力をいただきたいと思います。

⑥RI会長賞受賞チャレンジ等のクラブ内以外の夢は、まったくございません。クラブ活動が明るく、楽しい運営になる事だけを目指して一年間務めさせていただきます。会員皆様のご支援とご協力をお願い致します。

CLPプラン部門

平林 英一

地区協議会では釧田さんとCLP部門の分科会に出席しました。

服部カウンセラーのとてもわかりやすく熱意のある研修を受けました。一人眠りに



については皆さんしっかりとした姿勢で勉強をしたと思います。

私は釧田ガバナー補佐から、クラブで講義をしてもらっていたから難しいなりに何とか理解できたと思います。

では、服部カウンセラーの研修の内容に入りたいと思います。

2630地区では6クラブが導入している。地区のCLP導入に賛成の意見として、少人数クラブには合理的であり、もっと早くから導入すればよかった。また、出席率の向上、意思疎通がはかれた、アイパッド、フェイスブックの利用

もあるなど。

否定意見では、自主性でよく、新しいものには抵抗感がある、古参のメンバーの中にはやりたくないとか、年度計画済みでやれないとか、本当に活性化するのか疑問に思う人もいる。

CLPの本当の目的は何か

クラブの活性化の為に自由な改革であり、委員会構成を変えるのは便宜的な手段である。

2004年にRI理事会で決定しているのですが四大奉仕を軽視しているとのことで2007年には、手続き要欄で五大奉仕の重要性を組み入れ、導入は自由裁量としました。

9項目の提言がありました。クラブの長期戦略、年次計画、全員出席のクラブ協議会、クラブと、地区のガバナー補佐を通じての連携、単年度制による伝承の不足から、管理運営委員会の設置で継続性を重視、クラブ細則の毎年見直しでクラブの哲学を重視、親睦はロータリー理念の共有を目的とする、全員参加の周知の徹底による活性化、定期的包括的研修による質の向上、の為にクラブリーダーの研修。以上日本独自のCLPを考えていることが伝わりました。

公共イメージ&ソーシャルメディア部門

大保木 正博

ロータリー自体や、その活動内容は世間に多くは認知されていない。対外的事業活動を通じて公共イメージの向上とソーシャルメディアの活用により認知度を上げていく事が大切である。



会員基盤増強維持部門

黒地 重雄

会員は1998年から14年間減少傾向にある。会員増強のため、知り合いの若い世代リストアップして、積極的に勧誘し続ける事が大切である。



職業奉仕、社会奉仕部門

伊藤 正隆

地域に重点を置いた社会奉仕とロータリーの基本を強調する職業奉仕の大切さを感じた。



国際奉仕、新世代部門 久々野 国良

次年度に向けての村橋ガバナーエレクトよりの次期地区活動方針である「不易流行」についての講話より始まりました。30年ぶりの日本人RI会長エレクト田中作次さんの次期ロータリーテーマ「奉仕を通じて平和を」の話や、DVDなども紹介をされました。また、非常に話が明快で、理解しやすいことでした。次年度はこのわかりやすい言葉での活動方針が明確に実行されていくと思われます。さらに、いくつかの改革も発表され、今回の協議会でも分科会のやり方も変えられ、各プロジェクトごとの分科会に分かれることとなり、私の「国際奉仕委員会」は「奉仕プロジェクト（国際・新世代）」部門 分科会として「新世代」「青少年」「インターアクト」「ローターアクト」の各委員のかたと合同で実施され、分科会では、今までの世界奉仕の活動事例を名張中央・四日市・中津川・上野東RCの4クラブがパワーポイントを使っての紹介が有りました。



次期、国際ロータリーテーマと次期地区活動方針での「国際奉仕委員会」としては「海外の地域社会での多大な効果をもたらすプロジェクトを創造する」とあります。足次期会長や田中次期幹事・理事・役員の方々とよく相談をし、この方針に沿った事業を推進していきたいと考えております。

ロータリー財団部門

坂之上 健一

4月22日「国際ロータリー第630地区」地区協議会に出席しロータリー財団について勉強をしてきました。

まずロータリー財団の仕組みがどのようになっているかの大枠を理解することから始まり、財団資金の調達からその資金の使われ方、補助金の受け方の説明を聞きました。

今回ロータリークラブも大きく変化をしなければいけない時期に来ているという事でロータリー財団では「未来の夢計画」により、大きな変革が行われようとしています。それによって財団補助金も、今まで十数種類あったものを「グローバル補助金」と「新地区補助金」の2種類に簡素化されます。

又、次期地区ガバナーメッセージが掲げる「不易流行」の中に「ロータリー財団への支援」①「未来の夢計画」の計画・立案、②ポリオ撲滅最終段階に向けて支援、が掲げられており、2013年7月1日から全面移行に備えて、準備をするように勧められました。

今までのような単年度の計画ではなく、地域社会・国際社会に貢献するには如何なるプロジェクトが必要なのか綿



密な実施計画を立案し、それに沿って実施するという 3 年間のビジネスサイクルを確立してくださいとの話でした。

今、ロータリークラブも年々会員数が減少する中、当然資金も少なくなっています。その中でいかに有益な資金の使い方をすれば良いのか真剣に考えると時だと思えます。

米山記念奨学部門

中田 専太郎

この寄付金は、「恵まれない外国留学希望者に愛の手を」という制度ではなく、「優秀な奨学生に教育資金を出すことで、さらに優秀な人材を育てる」ことにある。

“日本ロータリーの父”といわれる米山梅吉氏（1868-1946）の没後、彼の功績を偲ぶために何か有益な事業を、という声がロータリアンから上がった。

「世界に“平和日本”を理解してもらうためには、まずアジア諸国の理解を得なければならない。アジアから一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、互いに信頼関係を築くことこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」という考えの基、東京RCから「米山基金」が始まった。



その後、ロータリー米山記念奨学会を組織し、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体となった。

その目的は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること。内容は、採用数年間 800 人、事業費約 1.4 億円、その約 86%ほどが実際奨学金として支出される。子の奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大。また、奨学金による支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援がある。特徴として、留学生 1 人に対して、世話クラブが一つ選ばれ、またその会員の中からカウンセラーが選ばれ、面倒を見ていく。

奨学金は、学生に対しては月額 10 万円、修士、博士課程生に対しては月額 14 万円が支払われる。

ただ奨学金額は減少傾向にあり、今後の課題として、①小学生の数を減らして、奨学金額を同じとする、②一人当たりの奨学金額を減らす、③特別積立財産（50 億円ほどあり）を取り崩して不足分に充当する、という問題があり、現在は③が行われている。

寄付は①普通寄付金（割当分を会がまとめて支払う）、と②特別寄付金（任意で支払う）、がある。

米山奨学金には税制優遇措置がとられ、年間寄付総額 -2000 円*所得税率=控除額となる。

第 2630 地区の寄付総額（2010 年度）は、上から数えると 26 番目、下から数えると 9 番目となる。

特別寄付には、遺言によるものもある。

<ニコニコBOX>

本日は地区協議会報告例会です。担当の次期役員の皆様よろしくお祈いします。
理事役員一同

先日の近火の火事の際はお見舞いを頂きありがとうございました。無事、生活・医業共に平常通りにしています。クラブから頂きましたご厚志をそのままニコニコへ。
高木 純

昨日の地区協議会に出席して頂きました会員の皆様ご苦勞様でした。
足立 常孝

地区協に出席された皆様方、夜遅くまで本当にご苦勞様でした。次期幹事として初仕事は如何だったでしょうか。皆様方の心あたたかいご協力、何卒よろしくお祈い申し上げます。
田中 雅昭

昨日は地区協議会に参加させて頂きました。久しぶりの地区協で大変勉強になりました。
久々野 国良

世界大会行ってきます。
劔田 廣喜 三枝 祥一

昨日の地区協議会は欠席してすいません。午前・午後・夜の会合の為であり、「イチゴ狩り」に行っていた為ではありません。
高殿 尚

高木さん 近火お見舞い申し上げます。
今井 俊治・伊藤 正隆

高山福祉協議会の落語会は水曜日 19:00 からです。前売り券をお持ちの方はお忘れなき様にお願い致します。
伊藤 正隆